

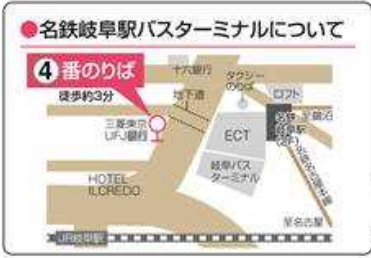

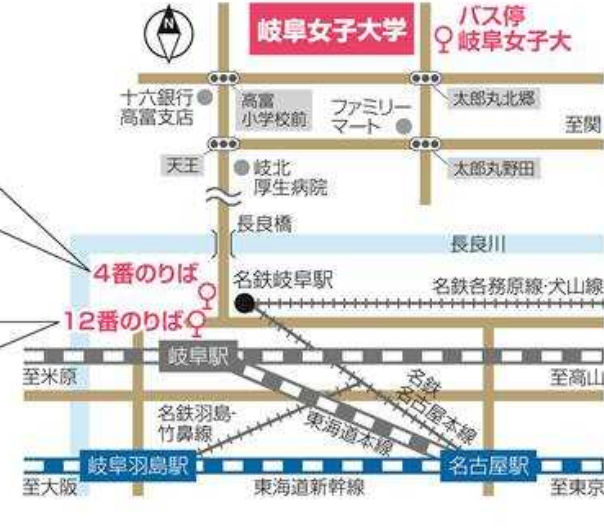
シラバス（授業概要）2017年度

開講年度	2017	ナンバリング	13MD0102(2015) 13MD0102	学期	後期	開講学年	1	授業方法	講義	単位数	2
授業科目名	メディア論I(デジタルアーカイブメディア論)										
授業担当者	井上 透										
授業の到達目標及びテーマ	メディアの特性（環境）を理解し、メディアの利用（収集・保存・管理・発信）方法を具体的に習得する。また、デジタルアーカイブ構成において、利用者から求められるメディア利用環境への対応や、多様なメディアを有機的に結合し、適正化を行い提供する方法について事例を考察し、実践な開発力を獲得する。										
授業進行形態	講義										
シラバスの到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルアーカイブの対象（情報源）となるメディアの特性（環境）の理解する。 ・ メディアの利用（収集・保存・管理・発信）方法を具体的に習得する。 ・ 利用者から求められるメディア提供方法を習得する。 ・ 多様なメディアを有機的に結合し適正化を行い提供するため、具体的な事例を考察し実践力を獲得する。 										
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 メディア利用の変遷 2 デジタルアーカイブの情報源となるメディアの特性（環境） 3 メディアの利用①デジタル化（撮影） 4 メディアの利用②デジタル化（記録） 5 メディアの利用③メタデータの整理（来歴・出自情報） 6 メディアの利用④メタデータの整理（検索のための内容分類検討） 7 メディアの利用⑤メタデータの整理（検索にかかる用語の選択） 8 メディアの利用⑥データベースの活用と保存 9 メディアの利用⑦マルチメディアデータベースの活用と保存 10メディアの利用⑧プレゼンテーション（基本） 11メディアの利用⑨プレゼンテーション（検索利用） 12メディア利用環境への対応（ユニバーサルデザインの実現）方法の習得 13事例研究 ハイブリッドメディアの活用（伝統文化） 14事例研究 ハイブリッドメディアの活用（自然環境） 15課題と考察 										
試験及び方法	試験及び課題レポート提出										
テキスト	iPadにて利用可能なPDFデータを提示する。										
参考書	後藤忠彦、井上透他(編集監修), 『デジタルアーカイブ入門』, 日本アーカイブ協会, 2013 後藤忠彦監修『デジタル・アーキビスト概論』(日本文教出版)										
学生に対する評価	試験及び課題レポートにより評価										
再試験											

(この様式はシラバスとセットにしてホームページに掲載します)

岐阜女子大学「メディア論 I」の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します。

科目名	メディア論 I
時間割	毎週水曜日 3 時限目 13 時 10 分開始 14 時 40 分終了
初回の授業日	2017 年 9 月 27 日 (水)
講義室	太郎丸キャンパス 1 号館 2 階 0 1 2 1 6 教室 (第 1 コンピュータ教室)
注意事項	自家用車による通学可。事前にメールで駐車場許可証を申請してください。
授業についての 問合せ	学事課 gakuji@gijodai.ac.jp TEL 058-214-9064

地 図	<p>公共交通機関をご利用の方</p> <p>●名鉄岐阜駅バスターミナルについて</p> <p>4 番のりば</p>  <p>●JR岐阜駅バスターミナルについて</p> <p>12 番のりば</p>  
交通アクセス	<p>JR 岐阜駅・名鉄岐阜駅前から</p> <p>JR 岐阜駅北口駅前 1 2 番のりば、または名鉄岐阜駅前 4 番のりばから岐阜女子大線・高美線乗車。</p> <p>「岐阜女子大」下車正門前 (約 3 9 分)</p>